

◆ 交流(2)

<交通対策>

- 愛知万博の目玉の一つとして建設された東部丘陵リニアモーターカーは、万博閉幕後負の遺産となった。閉幕後に撤去すべきであった。元々観客輸送用に建設した物で閉幕後の赤字は解っていた筈である。イベントなどで利用数が多少伸びたというが先の破綻は見えている。『沿線に住民が少なく、利用する人間の絶対数が不足している』のである。いつまでもその場しのぎの血税注入をしてはいけないのである。桃花台新交通システムピーチライナーが膨大な税金浪費の果てに破綻したのが良い例である。

県も沿線住民も思考転換して、当初県が計画した様に、会場跡地や沿線に団地開発や学園誘致をして『利用者増を計る』より方法は無い。

それが出来ないと言うのなら、傷の浅い今のうちに早速路線バスに転換すべきである。

環境保持と利便さの両立には、根本的に無理のある事を理解すべきである。

(平成23年3月 阿久比町 60代男性)

[回答]

リニモは博覧会終了後、厳しい経営状況にあることはご指摘のとおりです。

しかし、こうした中であっても、利用者は平成18年度の1日当たり約13,700人から、右肩上がり着实に伸びてきており、21年度は約16,800人となっております。

このように利用者が増加したこともあり、リニモを運営する愛知高速交通株式会社の経営状況は、21年度決算で、営業収入で運行経費(ランニングコスト)を賄うことができるようになり、走らせれば走らせるほど赤字というような状況からは脱却しております。

一方、初期投資に伴う多額な借入金が経営を圧迫しているため、これを切り離す支援策を会社経営が軌道に乗るまでの間、行うことにより、将来にわたって自立的かつ持続的に運営できる会社となると考えております。

さらに、リニモの経営安定化のためには、様々な利用促進策はもとより、中長期に利用者増につながる沿線開発が重要でありますので、沿線市町と共同でとりまとめた「リニモ沿線地域づくり構想」に基づき、駅周辺に住宅や商業施設、公共施設の整備、誘導を進めているところであります。

リニモの利用者数は、今や年間 600 万人を越え、尾張と三河を結ぶ広域交通ネットワークを形成し、愛知の今後の発展に欠くことのできない交通機関であります。今後とも、リニモの運営について、ご理解いただきますようお願いいたします。

【地域振興部】

<住宅>

- 県営住宅駐車場使用について団地掲示板に、「ナンバープレートの無い車、車検切れの車が駐車してあります。不要の車は各自責任を持って処分して下さい。」とある、当住宅は駐車位置は自由にて、(駐車料金不要にて助かっていますが) 現況はナンバープレートの無い車が数台放置されています。又、不法改造車が車高のひどく低い車、マフラー改造か騒音を出す車、何ヶ月も同位置に放置された車、駐車場管理は各自治会でとの事で役員さん色々配慮して見えますが、大変な事だと思います。警察署の管理指導を(外されたナンバープレートはどこに?) 犯罪には?

団地入所条件の調査の際、車検証コピー、運転免許証などの提示を、車に関しての規制条件を厳しくし、入居後の車の管理も継続されるような方法を考えられないかと思います。住宅管理事務所のご指導が必要であり、ご検討下さるようお願いいたします。

(平成 22 年 8 月 高浜市 70 代男性)

[回答]

過日お寄せいただきました住宅駐車場の使用につきましては、次のとおり考えております。

お寄せいただいたご意見にも記載してありますとおり、放置車両等の問題については各自治会においてもご苦勞をされており、愛知県住宅供給公社の各住宅管理事務所にも自治会よりご相談が寄せられているところです。

放置車両等の場合、通常のゴミと違い価値のあるものもあり、また、所有者についても個人情報の問題があり確認が難しく、その処分が簡単ではありません。

従いまして、ご相談が寄せられる都度時間をかけて処理していかなければならないのが現状ですので、ご理解をいただきますようお願いいたします。

なお、愛知県では、駐車場が整備されていない県営住宅については順次整備の上、有料化を進めており、有料化後の車所有者との契約の際には、駐車位置を定め車検証のコピーを提出していただくなど駐車場の管理を行っております。

今後とも、よりよい県政を築くために、県政へのご協力をお願い申し上げます。

【建設部】